

(仮訳)

第3回アジア・ゼロエミッション共同体 (AZEC) 閣僚会合共同声明 クアラルンプール、2025 年 10 月 17 日

我々、オーストラリア、ブルネイ・ダルサラーム、カンボジア、インドネシア、日本、ラオス、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナムの大臣は、2025 年 10 月 17 日、マレーシアのクアラルンプールで一堂に会し、マレーシアの経済省と日本の経済産業省 (METI) が共同議長を務める第3回アジア・ゼロエミッション共同体 (AZEC) 閣僚会合を開催した。

不確実性が高まる世界のエネルギー情勢の中で、我々はグローバル・ストックテイク (GST) に関する第5回パリ協定締約国会合 (CMA.5) 決定に沿った取組を加速させるというコミットメントを再確認する。我々は、1.5°Cの道筋に整合する形で、温室効果ガスの排出量を大幅に、迅速かつ持続的に削減することが緊急に必要であることを認識する。

この文脈において、我々は、「AZEC 原則」の価値を認識し、気候変動対策、包摂的な経済成長の促進、エネルギー安全保障の確保を同時に実現するという「トリプル・ブレイクスルー」達成の重要性を強調する。我々はまた、「一つの目標、多様な道筋」という概念を尊重し、各国固有の状況を踏まえた、今世紀半ば前後までのカーボンニュートラル／ネット・ゼロ排出に向けた多様かつ現実的な道筋が存在することを認識する。我々は、各国の道筋及び状況に応じたエネルギー移行を加速する努力を継続し、AZECにおける協力を強化することへのコミットメントを再確認する。我々は、第2回グローバル・ストックテイクへの貢献を目指す。

我々は、2024 年 8 月にジャカルタで開催された第2回 AZEC 閣僚会合と、2024 年 10 月にビエンチャンで開催された第2回 AZEC 首脳会合以降に達成された以下の進展を歓迎する。

セクター別イニシアティブの実行

我々は、AZEC セクター別イニシアティブの実施に向けた取組の一環として 2025 年 5 月に開催され、特に電力、運輸、産業の三つの主要排出セクターにおけるエネルギー移行に関する取組、課題、ベストプラクティス

および施策について、各国間での共有と意見交換が行われた、AZEC Leading Action Forum (AZEC LEAF) における活発な議論を歓迎する。

我々は、AZEC パートナー国における多様な状況への理解を深め、政策の発展および実施における協力分野の特定、ならびにベストプラクティスの共有に向けた議論を構築する上で、AZEC LEAF が有益なプラットフォームとして機能していることを認識する。

進捗モニタリングとレビュー

我々は、東アジア・アセアン経済研究センター (ERIA) 内のアジア・ゼロエミッションセンター (AZE センター) が作成した、AZEC パートナー国におけるエネルギー移行の動向、直近の政策の進展及び具体的なプロジェクトの進捗状況を整理した、AZEC プログレスレポートを歓迎する。AZEC パートナー国間の更なる連携を促進するため、我々は、各国がそれぞれの移行の道筋において直面する固有の課題に対する理解を深め、エネルギー政策に関するベストプラクティスや経験の共有を促進し、AZEC パートナー国間における具体的な協力分野を特定することの重要性を認識するとともに、国際エネルギー機関 (IEA) に対し、AZEC の基本原則に基づく「協力強化のためのエネルギー移行レビュー」の実施を要請する。

セクター横断的なイニシアティブの実行

我々は、アジア開発銀行 (ADB)、ERIA 及び METI による共同報告書「ASEAN の排出削減が困難なセクター及び多排出セクターの脱炭素化に向けて - トランジション・ファイナンス、技術、政策アプローチ」の公表を歓迎する。この報告書を通じて、効果的な移行技術の可能性とその応用、ならびに、現実的なエネルギー移行を支援するための技術及び金融の両面における国際協力の機会を再確認する。我々はまた、IEA による報告書「トランジション・ファイナンスの拡大に向けて」を歓迎する。トランジション・ファイナンスの推進にあたって、プロジェクトの実現可能性を確保し、カーボンロックインを回避するための信頼性を確立する上で、明確な政策シグナルが極めて重要であり、この点において技術ロードマップが有用な手段となりうることを認識する。我々は、これらの取組を支援する政府間対話の更なる促進を歓迎する。

我々は、第 2 回 AZEC 首脳会合において合意された「今後 10 年のためのアクションプラン」において示された、「サプライチェーン全体にわたる温室効果ガス排出の可視化を通じた産業の競争力向上」及び「十全性(質)

の高い炭素市場の推進」に焦点を当てた、AZEC ソリューションの具体化に向けた議論を深化させるプラットフォームである「AZEC での炭素市場構築に関する国際会合（AZEC-DCM）」の設立を歓迎する。2025 年 5 月及び 8 月に開催された AZEC-DCM 会合において、活発かつ有意義な議論が行われたとともに、ERIA により報告書が公表される予定であることを認識する。

我々は、AZEC-DCM を通じて、各 AZEC パートナー国の状況に沿った形で AZEC ソリューションを実現するため、継続的な議論及び協力の重要性を強調する。

セクター別及びセクター横断的活動における調査分析

我々は、ASEAN パワーグリッド、炭素回収・利用・貯留（CCUS）、および AZEC パートナー国向けの脱炭素ロードマップの策定などのセクター別の研究を含む、AZE センターによって実施された多様な研究・分析活動を歓迎する。

また、各国の移行の道筋の形成に向けた重要な指針を提供する「アジアにおけるトランジション・ファイナンスのための技術リストと展望（TLP）」第 2 版や、自主的炭素市場エコシステム・ロードマップの公表など、同センターの分野横断的な貢献も認識する。

我々は、AZE センターが ASEAN エネルギーセンター（ACE）と連携し、AZEC セクター別イニシアティブの知的・分析エンジンとしての中心的な役割を果たすことへの期待を再確認する。AZE センターは、情報共有、政策関連研究、協力プロジェクトの実施を通じて、AZEC パートナー国による効果的かつ包摂的で、各国の事情に即した脱炭素戦略の策定を支援する。AZEC パートナー国は、ASEAN 内の国境を越えた海底電力ケーブル及び陸上送電線の開発と通過を促進することを含め、ASEAN パワーグリッドの実現に向けて相互に利益をもたらす ASEAN 内の多国間電力取引における協力を追求する。

具体的なプロジェクトの推進

我々は、AZEC 協力プロジェクトの一部において、官民双方のパートナーによる顕著な進展が見られたことを歓迎する。また、AZEC パートナー国におけるエネルギー移行に向けた継続的な取組を認識するとともに、新たなプロジェクトの発展を歓迎する。

官民連携

我々は、ASEAN ビジネス諮問評議会、日本経済団体連合会、ERIA によって立ち上げられた AZEC アドボカシー・グループによる活動を歓迎する。これには、ASEAN Sparks、ASEAN Energy Business Forum (AEBF)、Cleaner Energy Future Initiative for ASEAN (CEFIA)との連携の下、AZEC の主要なイニシアティブと整合する重要なテーマに関する対話のプラットフォームを提供するため、第 3 回 AZEC 閣僚会合のサイドイベントとして開催された、AZEC ビジネスフォーラムへの支援が含まれる。

コミュニケーションと情報発信

アジア全体での脱炭素化を達成するためには、知識の共有、研究活動、能力構築の促進が重要である。この観点から、我々は、アジア CCUS ネットワークの活動など AZEC パートナー国間の共同プロジェクト、研究、ワークショップの実施を歓迎する。

我々は、2025 年 6 月にマレーシアで開催された Energy Asia において、展示、議論、ラウンドテーブルを通じて AZEC の原則及び多様な取組を一般市民や関係者に発信したことを強調する。さらに、クアラルンプールでの Energy Asia、Singapore International Energy Week、ラオスでの ASEAN Energy Business Forum、タイでの Sustainable Energy Technology Asia、アジア開発銀行主催の Asia Clean Energy Forum など、AZEC を特集した各種イベントを通じて、官民双方の取組を一層促進することの重要性を強調する。また、ACE、ASEAN 気候変動センター (ACCC)、IEA、ERIA などの関連する国際機関や組織との協力も歓迎し、さらに期待する。

今後について

第 3 回 AZEC 閣僚会合の共催国であるマレーシア及び次回の AZEC 閣僚会合の共催国であるフィリピン、また、AZEC パートナー国の代表団の参加に対し、心から感謝の意を表する。